

「成果をあげている学校」における取組み

全国学力・学習状況調査等により現状を把握・分析し、授業づくりにフィードバック



授業づくりで大切にしていること

以下の基本的なことを毎時間積み重ねることを意識している。

- 本時の課題を確認する。
 - ・ 短時間で課題をつかみ、考える時間を十分に確保している。
- 課題の解決方法を見通す。
 - ・ 個で考える前に、前時までの内容とのつながりを考える時間を設けている。
 - ・ 解決のための見方・考え方を全体で確認し、見通しを立てるようにしている。
- 数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動により学びを広げ深める。
 - ・ 「個→集団→個」という流れを毎時間のスタンダードにしている。
 - ・ お互いに聞き合える関係づくりを土台にして、相手を意識した説明ができるようにしている。
- まとめと振り返りを充実する。
 - ・ 単元の中で、評価問題により形成的に評価する時間を位置付け、計画的に学びの見取りを行っている。



家庭学習で大切にしていること

- 学習者用端末等を活用して授業と連動
 - ・ AI型ドリル等で児童生徒の理解度に合わせた家庭学習を実施し、知識・技能の定着を図っている。
 - ・ 家庭学習として Google Jamboard などの共同作業ツールを使用して調べたことや考えたことをまとめ、それを使用して授業を実施している。



その他の取組み

- 「付きたい力」に応じた評価問題
 - ・ 単元を通して「付きたい力」を明確にして観点別に独自の評価問題を作成し、実施している。
- アクションプランの活用
 - ・ アクションプランをもとにチェックリストを作成して授業づくりの取組み状況を定期的に評価し、授業改善に生かしている。
- 朝学習等と授業との連携
 - ・ 朝学習等で取り組んだ基礎的・発展的な問題を授業と結び付け、学びの連続性を実感できるようにしている。



研究体制づくりで大切にしていること

- 協働的に深める教材研究
 - ・ 事前検討会として教科部会を複数回行い、教材理解を深めている。
 - ・ 普段からお互いの授業を参観し、研究の視点に沿ったコメントを書いて交流している。
 - ・ 校内で算数・数学マイスターを任命し、師範授業や他の先生への指導・助言を行っている。
 - ・ 中学校の教員が、小学校に乗り入れ授業（算・英）を行い、系統性を踏まえた授業づくりを行っている。（小中連携の視点）



「成果をあげている市町村教育委員会」における取組み

- 地域学校協働本部と学校運営協議会の設置により、域内の各学校と地域が一体となった教育を進めている。（放課後や休日、長期休業の学習支援等）
- 町独自で学力向上推進員（退職校長等）を配置し、年間を通じて授業改善への指導・助言及び、師範授業を実施している。
- 若手教員を対象とした短時間の研修会を定期的実施している。
- 中央講師や大学教員等を招いて、授業づくり等の研修会を実施している。

